

「総合的な学習の時間」 学習指導案

日 時 平成11年10月22日（金） 5・6校時
指導学級 東京都立府中東高等学校 第3学年
選択科目生物 I A 男子10名 女子23名
授業者 東京都立府中東高等学校教諭 榎 茂喜

1. 領域名「性教育」

2. 領域設定の位置づけ

(1) 総合的な学習における領域の位置づけ

新学習指導要領により、新しく「総合的な学習の時間」が設けられ、高等学校での教育活動は、「教科・科目」「特別活動」「総合的な学習の時間」の三本立てとなることが決まった。この「総合的な学習の時間」は、いかに社会が変化しようとして、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力などの生きる力を育むために創設されたものである。

「性教育」は、自己の性を認識し、豊かな人間関係を築く中で直面する性の諸問題を適切に判断し、対処する能力や資質を育てることを一つの目的としていることもあり、「総合的な学習の時間」は性に関する学習を深く、統合的に行うには適している。特に、性教育の重要課題である、自己の在り方・生き方についてを考察する学習活動に関しては、この「総合的な学習の時間」によって、横断的・総合的に扱われることが学習の成果をあげるためには必要である。

(2) 教材観

① 現行および新学習指導要領いずれにおいても、『性教育』の記述はないが、総則・教科・特別活動等の記述には性教育に関連する事項がある。教科においては特に、公民科・地歴科・理科・保健体育科・家庭科を中心として、性に関する学習が扱われている。しかし、今までの性教育はどちらかといえば、内容を断片的に取り上げ、一方的に知識や授業内容を教えることが多くみられた。特に高等学校では、大学進学を控えていることもあり、多くの学校では画一的な知識偏重の授業が行われてきた。自分の興味・関心から自ら学習することはなかなか難しいものがあった。

② この授業を行っている「生物 I A」はじめとして、理科における性教育では、人体の構造や生殖・発生のおよびホルモンと性周期などについて、科学的な側面からの基礎的な知識の習得を目的とした講義形式の授業形態が中心となっている。また、ヒトを一つの生物例として扱うために、ヒトだけが持つ特異性についてはあまり扱わない。そのために、生徒自身が性に関しての問題意識をあまり持つことがないという傾向にある。

③ 中学校では、「理科」において、細胞の構造、体細胞分裂、有性生殖・無性生殖を学習している。特に生殖ではカエルについての卵と精子の形成・構造・受精と発生を学習している。また、「保健」においては、二次性徴や身体や精神の発達、心身の調和について学習している。さらに、健康と環境や生活と疾病についても学習している。また、「技術・家庭」では、幼児の心身の発達について学習している。

(3) 指導観

① 総合的に性に関する学習を行うことにより、生徒自身の性に対する意識を高め、考え方や意思決定

について学ばせる。

- ② 人間の性について調べることににより、人間だけが持つ性に関する問題点を考えさせ、また人と人との関わりについて考える。
- ③ 社会の一員としてのライフスキルを身に付けるためのトレーニングを行う。
- ④ 心身ともに健康であることについて考え、実践する態度を育む。
- ⑤ ビデオ教材や資料を活用することにより、情報収集や処理などの情報活用能力を養う。
- ⑥ 探究を中心とした学習では、個人やグループにおいて、討論や活動が円滑におこなえるよう、助言及び指導を行う。

3. 領域の目標

(1) 総括目標

- ① 男または女としての自己認識を確かにさせるとともに、異性に対する認識を深めさせる。
- ② 人間尊重の精神に基づいて男女の人間関係を築くことができるようにする。
- ③ 家庭や社会の一員として生きていくうえで必要な人間の性に関する基礎的・基本的な事項を習得させ、現在及び将来の生活において、性にかかわる諸問題に対して、適切な意思決定ができるようになる。

(2) 具体的目標

- ① 自然現象への関心・意欲・態度
 - ア. 動物や人間の生殖・発生・遺伝について意欲的に調べようとする。
 - イ. 性に関する学習において、自分自身の意見をもつようにする。
- ② 自然現象についての知識・理解
 - ア. 動物の生殖や発生についてのしくみがわかる。
 - イ. 人間の生殖や発生では人間特有な現象がみられることがわかる。
 - ウ. 人間の成長・老化などにおいて、ホルモンや神経の関与が重要であることがわかる。
 - エ. 人間の体、特に男女の違いについてのしくみや役割がわかる。
- ③ 科学的思考
 - ア. 生命現象についての一様性と特異性を理解する。
 - イ. 人間の生殖における特異性を、今までの学習をもとにして考える。
 - ウ. 体のなかには一生をおくるためのさまざまなしくみがあることに気づく。
- ④ 探究活動の技能・表現
 - ア. 資料としての教材からの、情報収集および処理のしかたを習得する。
 - イ. グループでの討論の仕方を習得する。
- ⑤ 性に関する知識・理解
 - ア. 人間の生殖についての基礎的な知識を理解する。
 - イ. 人間の生殖、特に性交行動についての特異性を理解する。
 - ウ. 人間の性交行動における特徴や問題点を考える。
- ⑥ 社会的な側面
 - ア. 家庭や社会の中における人と人との関わりについて考える。
 - イ. 男女の性役割や関わりについて学習する。
 - ウ. 効果的なコミュニケーションを行えるような訓練を行う。

4. 指導計画

(1) 領域全体の指導計画 (全20時間)

『性教育』

① 心を知ろう

A. 性に関する関心

- 思春期の心 (1時間) 一斉学習・資料の利用
- 性に関する問題点 (3時間) ビデオ教材・グループ学習

B. 男女の人間関係

- 意思決定をしよう (1時間) ワークシートによる個別学習
- 性行動における選択 (1時間) デイバート
- 自分が考える男性像・女性像 (1時間) 絵画表現・集団討議
- 男女の関わりを考えよう (1時間) ワークシートによるグループ学習

C. 家庭や社会における人間関係

- 家族ってなんだろう 本時 (2時間) シナリオ作成・ロールプレイ

② 体を知ろう

A. 身体の発達

- 男の体・女の体 (1時間) 資料の利用・一斉学習
- ホルモンと性の成熟 (½時間) 一斉学習
- 脳と神経 (½時間) 一斉学習

B. 人間のライフサイクル

- 妊娠と発生 (2時間) ビデオ教材・調査
- 性と遺伝 (2時間) 実験観察・一斉学習

C. 健康な体

- 薬物の影響 (1時間) 資料の利用・ビデオ教材
- 性感染症 (1時間) 一斉学習・ビデオ教材
- 避妊と中絶 (2時間) ビデオ教材・デイバート

(2) この単元の指導計画

『心を知ろう』 (全10時間)

小単元	配当時間	主な学習活動	生徒の活動	指導上の留意点および備考
思春期		ブレインストーミング	自分自身の性に関する考えを関連事項の質問を通して次々とあげていく	生徒の自由な発想を重視する
	1	一斉学習	思春期とはどういうものかを考え、それに伴う体や心の変化を考える	興味本位にならないように注意しながら、性(生殖・性行動)の持つ意味を十分に理解させる
性に関する問題点	1	副読本を用いた一斉学習 ビデオ教材を用	事例学習 動物の相手を獲得するため	資料等を有効に活用し身近な問題としてとらえさせる ワークシートに記入させなが

		いた個別作業学習	の戦略について、オス・メスの両面から考える グループ討議を行い、人間と動物の生殖の違いを考える 人間だけが持つ特徴や問題点について考察する	ら自分や他人の考えをまとめ ていく グループ学習においてはシエ アリングやディスカッション に重点を置き、指導助言を行 う
意思決定	1	ワークシートによる個別作業学習	フローチャートを用いて幾つかの意思決定の場面について考え方を学習する	意思決定における行動や思考の流れに気付かせる 意思決定を行う場面や状況については教師から与える 簡単なものから複雑なものへと繰り返し学習をし、定着を図る
行動選択	1	ディベート	ディベートの方法を学習する 性に関する行動選択についてのディベートを「賛成」「反対」「聴衆」の3つのグループに分けて行う	行動選択を行う場面や状況については教師から与える 自分の意見をまとめ、他人の意見を聞いて、総合的に判断できるようにする
男女の性差	2	ワークシートによる個別作業学習 グループ学習	「男らしさ女らしさ」を絵に表す 身体的特徴以外の違いについて考え、討論し、考えをまとめる	ワークシートに記入させながら ら男女の相違点・共通点を考え、自分の性について考える
男女関係		グループ学習	男女がうまく付き合うためには何が必要であるのかを他のグループの意見を参考にしながら考えをまとめ 両親の会話についてのシナリオを考える 他の人のシナリオを聞いて考えを発展させる シナリオを演ずる	討論や自分の考えをまとめ ることに重点をおく
家族	2	シナリオ作成 グループ学習 ロールプレイ グループ学習	シナリオを演ずる	テーマや場面設定については 教師のほうから与える シナリオを演ずることにより 考えを共感する 家族や人間関係についての意 識や意見を持たせる

5. 本時の指導計画

(1) 学習主題設定の理由

私たち人間が、社会の中で協調して生活していくためには、個人の確立と社会的な調和を身に付けなくてはならない。家庭は個人が生活する場でもあり、また他者との関わりのある一番小さな社会でもある。また、高校生に対しては、社会人として、さらに新たに家庭を持つ者として、家族と言うものに対して、良く考え、自分自身で問題を解決していくことの出来る生徒を育成することが重要である。

(2) 具体的目標

- ① グループ討論を通して、性に関する事項について、自分自身で考える能力を育成する。
- ② ロールプレイを行い、演技者や観察者の意見を出し合い討議する
- ③ 家族という身近な問題を扱い、その問題解決の手段としてロールプレイを行ったり、情報収集や討議を行うことにより、豊かな人格の形成をめざす。
- ④ 学習の過程を通じて、ライフスキルの育成を行う。

(3) 展開 主題 「家族や社会の一員として必要な性に関する学習」

導入	主な学習活動	生徒の活動	指導上の留意点
(15分)	イメージ形成 (一斉授業)	家族とはどういうものなのかを各自考えてみる ・言葉探し ・連想ゲーム	性→愛→人→家族というように導いていくのも可 ブレーンストレーミングで自由な発想を尊重する 作業プリントにどんどん記入させていく
展開	シナリオ作成 (個人別作業)	高校生の娘から妊娠した事を突然伝えられた母親と父親との会話を考える	一番最初は人物やシチュエーションは教師から与える
休み時間 (10分)			
展開	ロールプレイ グループワーク (グループ別作業)	男女一人ずつの生徒を指名し、別の生徒のシナリオを演じる 幾つかの例を生徒を変えて発表 聞いている生徒は、その内容と意見や感想を書く 続きを考える	作者ではない生徒を指名する シナリオはプリントして配付すると良い。 デロールは首にぶら下げたボードをとるにより確実に行う プリントに記入 資料・作業プリントを配付する

主な学習活動	生徒の活動	指導上の留意点
(続き)	出来上がったシナリオを持ち寄り 討論し、班で1つ新しいシナリオ を作り発表する 各自、気付いた点をプリントに記 入する	友人と意見を交換しながら記入さ せる 机間指導により、討論が進むよう に助言をおこなう
グループ討論		
まとめ	各グループごとに新しいシナリオ を演じることにより発表させる 発表しないものは他のグループの 考えをまとめる 家族の在り方について考えをまと める	時間の関係で幾つかに発表をしほ る 他のグループの意見と自分の意見 を比べてさらに討論を深める 正しい答えを求めさせるのではな く、自分で考え、自分の意見を持 つことに重点をおく
グループ発表		
まとめ (15分)		
発展	場面・状況・人物について討議し てグループごとに自由に設定する 必要に応じて資料や情報の収集を 行う 台本の作成と練習 発表とまとめ	多くの意見があることを理解させ る 内容については特に人権について は考慮し、指導・助言を行う 情報収集・処理・活用の能力を育 める 校外における活動を伴う場合にお いては、その計画から適切な指導 を行う必要がある

(4) 学習指導上の留意点

- ① 導入においては、教科学習との違いを認識し、文学作品や映画などから利用してもよいと考えられる。また、グループ内で出てきた意見や、収集した情報を処理する場合に、特定の人物の意見や固定観念に捕らわれずに、自由な発想が出てくるように心掛ける。
- ② ロールプレイにおいては、場面の設定や配役について適切な指導を行う必要がある。また、人権については特に配慮が必要である。
- ③ 調査や資料の収集が必要な場合においては、その計画の段階より適切な援助を行うことが必要である。

(5) 学習の評価と反省

- ① 自分の意見を持つことができたか。
- ② 自分の意見を発言することができたか。
- ③ 意見や必要な情報を処理してまとめることができたか。
- ④ まとめたものを発表することができたか。

報告用紙 (その1)

- 1. 「愛」がつくことばには何かありますか。下にどんな書いて下さい。
- 2. 人と人とのつながりには、どのような関係があると思いますか。思いつくものを下にどんな書いて下さい。
- 3. 家族という言葉聞いてどのようなイメージが浮かびますか。
- 4. 発表されたシナリオを聞いて次の表にまとめましょう。
- ☆ 報告用紙 (その2) のシナリオを各自で作りましたよ
- ☆ 発表されたシナリオを聞いて報告用紙 (その2) にまとめましょう
- ☆ 報告用紙 (その3) のシナリオをグループごとに作りましょう

感情	内容 のまとめ	出演 父 () 母 () ()

7. 本日の授業の感想を書いて下さい。

- 6. 家族とはどういうものだと思いますか。グループで話し合い、考えをまとめて書いて下さい。
- 5. お父さんとお母さんはどのようなアパイスや手助けをしたらいいと思いますか。自分か親になったつもりで書いて下さい。

報告用紙(その2)

☆ 次の状況を読んで、後の会話文の続きを考えましょう。

お父さんは、48歳の会社員であり、お母さんは45歳の専業主婦です。子供は高校3年生になる娘(17歳)が一人います。ある日の夕方、学校から帰宅した娘から、「お母さん、わたし子供ができたかった」と突然伝えられた母親は、その後、帰宅した父親にそのことを話しました。

父「ただいま。」

母「おかえりなさい。ねえ、お父さん。さっき〇〇子が帰ってきたんだけど、あの子、子供ができたって言ってますよ。」

父「

母「

父「

母「

父「

母「

父「

母「

父「

母「

父「

出演 父() 母()	内容 のま とめ	感想

出演 父() 母()	内容 のま とめ	感想

出演 父() 母()	内容 のま とめ	感想

報告用紙(その3)

☆ 各自、シナリオの続きを考え、この下に書き込んで下さい。その後グループごとに自分達のシナリオ持ち寄り、問題点などを話し合います。

☆ グループで話し合いながら、各自、気づいた点や考えたことを書きましょう。また、新しいシナリオの考え方をどういふのですか。

☆ グループごとに新しいシナリオを考えましょう。そしてそのシナリオに題名をつけましょう。

題名

父

母

父

母

父

母

父

母

父

母

父

母

父

母

父

母

年 組 番氏名

☆ 次の状況を読んで、後の会話文の続きを考えましょう。

お父さんは、48歳の会社員であり、お母さんは45歳の専業主婦です。子供は高校3年生になる娘(17歳)が一人います。ある日の夕方、学校から帰宅した娘から、「お母さん、わたし子供ができた」と突然伝えられた母親は、その後、帰宅した父親にそのことを話しました。

父「たいま。」

母「おかえりなさい。ねえ、お父さん。さっき〇〇子が帰ってきたんだけど、あの子、子供ができたって言ってますよ。」

父「何を言ってるんだ？ 誰か？ た？」

母「誰か？ 本当の誰か？ た？ た？」

父「はい、相手が誰か？」

母「誰か？ 誰か？ 誰か？」

父「はい、何を言ってるんだ？ 誰か？ 誰か？」

母「おかしな話じゃない？ 誰か？ 誰か？」

父「おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。」

母「おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。」

父「おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。」

母「おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。」

父「おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。」

☆ 次の状況を読んで、後の会話文の続きを考えましょう。

お父さんは、48歳の会社員であり、お母さんは45歳の専業主婦です。子供は高校3年生になる娘(17歳)が一人います。ある日の夕方、学校から帰宅した娘から、「お母さん、わたし子供ができた」と突然伝えられた母親は、その後、帰宅した父親にそのことを話しました。

父「たいま。」

母「おかえりなさい。ねえ、お父さん。さっき〇〇子が帰ってきたんだけど、あの子、子供ができたって言ってますよ。」

父「何を言ってるんだ？ 誰か？ た？」

母「誰か？ 本当の誰か？ た？ た？」

父「はい、相手が誰か？」

母「誰か？ 誰か？ 誰か？」

父「はい、何を言ってるんだ？ 誰か？ 誰か？」

母「おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。」

父「おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。」

母「おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。」

父「おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。」

母「おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。」

父「おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。おかしな話じゃない。」